

さか
した

タイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかした



第247号

坂下 小学校・中学校 入学式

4月8日(水)、坂下小学校入学式がありました。本年度は20名の新入生が新たに坂下小学校の仲間になりました。保護者の皆さんや教職員からの拍手の中、6年生のお兄さん、お姉さんに手を引かれ、入場しました。少し緊張した表情でしたが、校長先生の話の中で『ワニ博士』が登場するとニコニコ笑顔になりました。ワニ博士からは坂下小学校には「わくわく」「にこにこ」がたくさんあると教えてもらいました。また、児童会長の吉野衣織よしのいおりさんは1年生に「坂下小には、迎える会や運動会など楽しいことがたくさんあるよ」「6年生を頼ってね」と話し、「坂下小学校が楽しみな人」と呼びかけると1年生だけでなく6年生からも元気よく手が挙がりました。式の後の教室での学活では、担任の先生から名前を呼ばれると元気よく「はい」と返事をしていました。これから始まる小学校生活への希望があふれた式になりました。



4月8日(水)、坂下中学校入学式を行い、47名が坂下中学生の仲間となりました。学校長からは、「新芽が伸びるように、どんどんチャレンジして成長していこう」とメッセージを贈りました。新入生代表の大津陽愛おおつひなたさんは、「大きな希望と喜びを胸に、中学校では、なりたい自分を目指して将来を切り拓いていけるようにがんばります」と力強く決意を語りました。

今年度も、坂下中学校は『誰もが通ってよかったと実感できる学校』『自己を見つめ、挑戦し続ける生徒』をめざしていきます。

坂下の観光を巡回バスで PR



坂下地区の観光 PR として、坂下のバス・タクシー会社である(株)サカガワ観光(今井和彦社長)が、『坂下の花馬祭り』と『椈の湖そばの花まつり』を巡回バスにラッピングを施し、3月初旬から坂下地区内を巡回しています。巡回バスの両側面には、花馬祭りのクライマックスとなる花はな奪りの場面や、神輿に子ども手踊りの様子、後部(リア)には、一面にそばの花が咲き乱れる『椈の湖そ



ばの花まつり』がラッピングされており、費用は同社が負担。

今井社長からは、「地域の多くの方に見ていただき、乗車していただきたい」とのコメントがありました。

美濃坂下ライオンズクラブ様から本の寄贈がありました

美濃坂下ライオンズクラブ(小林直登会長)より、坂下公民館図書室へ児童書を寄贈していただきました。

ありがとうございます。坂下公民館ライオンズ文庫に加えさせていただきます。

子どもたちに人気の本が入りました。ぜひ図書室へ遊びに来てください!

『理科ダマン』9・10巻

『銭天堂 吉凶通り』3・4巻

『はじめてのサイエンス』シリーズ5冊

学習漫画3冊・昔話の絵本6冊 ほか 計22冊(3万円相当)



区長会通信

新区長会長より就任ごあいさつ 会長 宮澤 薫

新しく令和8年度から区長会長を務めます宮澤薫（東町在住）です。

区長として今までの仕事とは全く違う世界に接し戸惑うことも多いですが、新たな刺激とし、しっかり任期を全うするつもりです。坂下地区は市内でも人口減少が著しく少子高齢化が顕著になっています。市の人口ビジョンによれば1980年には6,368人あった坂下地区の人口が、現在は約3,800人と、約2,500人近く減りました。特に20代の若年層の流出が人口減少の主因とされています。すぐに手を打たないと、将来の坂下は今の姿は保てないとの予測が出ています。区長会にできることは限られますが、関係団体と連携しつつ、若者が「坂下に住み続けたい、戻ってきたい」と思える地域の温かさをつくる第一歩を踏み出せればと思います。高齢者の独居世帯も増加し続けています。都市部に住む子どもから同居を提案されても、知り合いが誰もいない所へ行くより、近所から声をかけてもらえる今のところがいいという声はよく聞きます。いまこの地域に住んでいる人たちが坂下に住んでいて良かったと思えるような場所になるよう、微力ながら努力したいと思います。一年間宜しくお願い致します。



【退任】お疲れさまでした

- 2区 弓谷 則幸
4区 伊藤 泰博
8区 安江 傳二（前区長会長）

【新任】よろしくお祈いします

- 2区 片桐 和明
4区 稲澤 正志
8区 吉村 健次

令和8年度 区・自治会役員名簿訂正について

坂下花馬保存会「花馬委員」

合郷地区 副実行委員長

誤) 吉村 礼彦 天淵 ⇒ 正) 吉村 礼彦 矢淵

上野地区 実行委員長

誤) 古田 静昭 ⇒ 正) 古田 静昭

お詫びして訂正します

今年もモミランが咲きました！

中之垣外の字広野にはかやの木の大きな大木があります。この大木には、モミランが寄生しています。このモミランは、『日本の最北端のモミラン』として岐阜県と中津川市の天然記念物に指定されました。

8年前、中津川市文化振興課によりかやの木が衰えモミランに元気がないと診断され、手入れがなされました。その効果が徐々に現れ、モミランの株が少しずつ増えてきました。今年は3月に入ると花が確認できました。



坂下地区郷土文化財保存会でも観察会を行い、モミランの説明板や標柱を整備していきたいと考えています。坂下の貴重な岐阜県指定天然記念物です。皆で大切に守って行きましょう。

郷土文化財保存会より（写真：山内 総太郎 / 文：早川 英雄）

坂下の歴史展示と講演会開催



3月13日（金）～15日（日）の3日間、坂下公民館で「忘れられない戦争の記憶と昭和年代の思い出展」が開催され、地域内外より延べ140人が来場しました。また、最終日には「坂下の明治・大正・昭和」の講演会があり、98人の参加がありました。

地域内6団体からなる実行委員会が、戦後80年、昭和100年の節目にこれからのまちづくりのため、地域の歴史を知ってもらおうと企画したもので、多くの人に坂下の歴史を知ってもらう機会となりました。

健康福祉会館「あおぞら」からのお知らせ

6月25日（木）・10月17日（土）、坂下総合事務所で「がん検診・特定/30代健診」が行われます。詳しくはさかしたタイムズ6月号をご覧ください。

400ml 限定 献血にご協力ください！

日時：5月27日（水）14時～16時

場所：坂下総合事務所

※ご協力いただいた方には美濃坂下ライオンズクラブ様より卵のプレゼントがあります。

坂下総合事務所職員異動のお知らせ

【転入】 よろしくお祈いします。

所長補佐 勝 恵子（市民保険課より）

主任 幸脇 竜之介（生涯学習スポーツ課より）

【転出】 お世話になりました。

所長補佐 原 三千保（川上総合事務所へ）

主任主査 小林 やよい（坂下診療所へ）

【4月1日付】

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

たぐちのりいち
田口憲一

＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その10＞ ～製糸業4～

昭和4年の世界大恐慌に端を発した不況の影響で、多額の負債を抱える農家が増えました。養蚕ブームに借地で桑園を開いていた坂下町内の「純小作層」の農家では、繭価暴落で小作料も税金も払えなくなりました。そして、小さい製糸工場、蚕種製造業者、関係の下請け業者などが廃業・倒産しました。(平成版『坂下町史』より)『恵那郡地域史』の座談会で吉村新六氏は、当時を回顧して「町内の三分の一の家が町税未払いで差し押さえを受けた程だった」、更に続けて「昭和7年からの農山漁村経済更生運動で坂下町は補助金を受けたが債務整理は進まず、13年には第2次更生計画を申請した。ところが、これには満州移民分村計画がセットになっており、また別の悲劇に繋がることになった」と語っています。

旧中津町では倒産した勝野製糸の関係者と行政も含めて善後策を立て、後に「恵那繭糸」となる中津生糸販売組合が出来ます。これによって地域の養蚕業は窮地を免れることとなります。また、瑞浪にあった「大製糸家」片倉の進出を抑制する自衛策だったかも知れません。この工場は三菱電機北側の柳町にでき、施設設備は勝野製糸の物を移転、従業員も移動しました。当時200人くらいの女工がいて、朝7時から夕方6時まで働いていたそうです。

日本全体が無謀な戦争へと突き進む中、食糧増産・軍備増強の流れとなり、養蚕・製糸は衰退し「濃信社」も経営不振となります。更に他の産業と同様に県・国の管轄となり、日本蚕糸製造(株)坂下生糸工場に統合されました。

戦後昭和23年農業協同組合法により近隣の9組合が加入して、濃信繭糸販売農業組合連合会(通称濃信社)を立ち上げ操業を再開します。組合加入の養蚕農家が繭を持ち込み生糸の生産は順調に伸びました。24年度では恵那地域より木曾地域からの供繭が多く、出資金も6割を占めていました。32年には20.6トン記録し、自動機の導入を進めます。昭和38年の会社の概要は従業員68名、建物23棟(968坪)、主な機械コスモ式自動繰糸機他12台、山岡式普通繰糸機60釜などの記録があります。

連合会の区域は、坂下・付知・福岡・串原・山口・田立・三留野・妻籠・大桑・上松・新開・黒川・開田、その養蚕戸数は1,744戸でした。当時の恵那郡以外に木曾の町村が多くあり「濃信社」と呼ばれた由来が分ります。

昭和40年代になると、恵那地域にあった養蚕農家は10年前より1,500戸ほど減り2,800戸に減少します。しかし、一戸あたりの取繭量は平均234キロと増加し、3トンを越す大規模養蚕家もいました。(本シリーズその6参照)

その後は養蚕農家の高齢化、後継者不足などでその数は次第に減少します。繭の量も400トンに満たなくなります。

濃信社は昭和42年には自動機を増設し215トンの供繭を確保しましたが、直に不足を来すようになり、地区外から購入して製糸を続けます。50年代には100トンを切り、赤字経営が続くようになります。昭和56年には国の指導を受け、翌年に組合総会で廃業を決定しました。残務整理を済ませ59年に閉鎖となりました。

下の自動繰糸機の写真を見ると工場内には3人の工員さんがいるだけです。明治・大正時代の工場内とは比べものになりません。この間の技術革新が良く分ります。

→中津川市坂下
濃信社の全景
(昭和50年頃撮影)



←濃信社の自動繰り糸場
(昭和50年頃撮影)

写真出典『恵那の蚕糸業のあゆみ』



毎月第3日曜日は「家庭の日」

中津川市青少年健全育成推進市民会議

はやね はやおき あさごはん せいかつリズムを ととのえて

坂下高校 入学式



4月8日(水)、坂下高等学校入学式が挙行され、地域探究科37名、福祉科7名、計44名の生徒が入学しました。校長による式辞では、「何事も前向きに取り組む大切さ」と「自分と異なる考え方や価値観を尊重する大切さ」についての話があり、誰もが大切にされる集団作りを通して、自分の視野を広げ、自己の成長に繋げてほしいとの願いが伝えられました。

岐阜県で唯一の『地域探究科』では、2年生から『進学・看護』、『未来共生』、『保育』、『調理・製菓』の4つのコースに分かれて専門的な勉強をします。また『福祉科』では、1年生から介護についての専門的な授業があり、介護福祉士国家試験には4年連続で100%の合格率を達成しています。今年も地域の皆様との交流を大切にしながら活動をしていきたいと思えます。応援よろしくお祈りします。

坂下中学校 超升先輩

伸びゆく我ら 誇りあり

3月6日(金)、42名が坂下中学校を巣立っていきました。卒業証書授与での堂々とした返事と表情には、決意を新たに未来へ向かっていこうとする強い意志が表れていました。学校長の式辞では「思考は言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は品性となり、品性は人生となる」というマザー・テレサの言葉を引用して、卒業生を激励しました。PTA会長さんからは「中学校での成長に自信をもって強く生きてほしい」と温かく励ましていただきました。

力強く後輩たちをリードし、最上級生にふさわしい姿と合唱で坂下中をさらなる高みへと押し上げた3年生。母校で学んだ誇りを胸に、力強くこれからの人生を歩んでほしいと願っています。



坂下小学校 学級開き

4月7日(火)に、着任式、始業式がありました。着任式では、9名の新しい先生をお迎えしました。始業式での『担任発表』では、担任の先生の名前が読み上げられると「やった!」と歓声が上がりました。式の後、新しい学年の教室で行われた『学級開き』では、新しく担任



になった先生から、自己紹介や1年間、学級で大切にしたいこと、めざしたいことなどの話がありました。子どもたちの表情には、新しい1年へのやる気を感じられました。

やさかこども園 入園式

4月6日(月)、令和8年度やさかこども園の入園式が行われました。

新・転入园児19人を迎え、にぎやかに新年度が始まりました。新しい環境に不安で、朝お母さんと離れる時は泣いてしまうけど、みんなで朝運動をしたり外で体をいっぱい動かしたり過ごしています。また、晴れた日には散歩に出掛け、泣いていた子どもも笑顔になっています。

年長組や年中組が散歩でヨモギやつくしを摘んで、春を感じています。今年度も子どもたちと一緒に楽しい活動をいっぱいして、やさかこども園を大好きになってもらいたいです。



《5月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
1	金	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
20	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
26	火	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
27	水	400ml 限定 献血	14:00~16:00	坂下総合事務所
28	木	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	
30	土	おはなしの会	10:00~	坂下公民館

ごみの収集日		燃えるごみ	毎週月・木曜日
燃えないごみ	5月6日(水)	大型ごみ	5月15日(金)
資源・硬質ごみ	5月20日(水)	有害ごみ	5月の収集はありません

人口と世帯数(令和8年4月1日現在)

人口	3,811人(前月比24人減)
	男1,850人、女1,961人
世帯数	1,598世帯(前月比3世帯増)

慶弔のお知らせ

3月11日から4月10日の
坂下総合事務所への届出分

(敬称略)

●ご逝去

原 立男 91歳 島平一

千藤 博義 88歳 上鐘一

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp